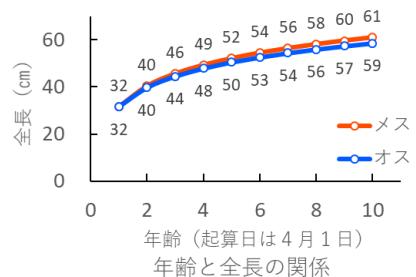


トラフグ

1 生態

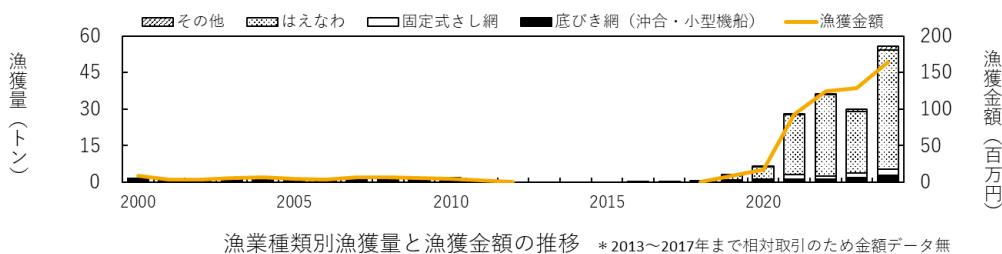
- ・日本海、東シナ海、黄海、瀬戸内海及び太平洋沿岸の広範囲に分布します。
- ・オスは満2歳、メスは満3歳で成熟します。本種の産卵場は全国に散在しており、日本海側では秋田県以南、太平洋側では東京湾以南に確認されています。産卵期は海域により異なりますが、主に3～5月です。
- ・成魚は魚類やエビ類等の甲殻類を食べます。

* 「令和5（2023）年度トラフグ日本海・東シナ海・瀬戸内海系群の資源評価」により右図を作成



2 漁業に関する情報

- ・主にはえなわで漁獲され、盛漁期は10～1月です。
- ・2024年（令和6年）の漁獲量は55トン、金額は164百万円でした。
- ・2011年3月の震災以降、操業自粛により水揚げはありませんでしたが、2016年（平成28年）1月から再開されています。
- ・近年、特に漁獲量が増加している相双地区では、「福とら」と名付けて特産品化を進めています。



3 資源の状態

- ・資源量の指標となるCPUE（単位努力量あたり漁獲量）等の情報が不足していることから、資源水準や動向は不明です。
- ・漁獲量の推移から、震災以前と比較して近年の資源は高位で増加傾向にあると考えられます。

4 資源管理の取組み

- ・相双地区はえ縄漁業者の自主的な取り決めとして、全長35cm以上の個体を水揚対象とし、水揚尾数に上限を設定しています。
- ・操業期間を10月～翌年2月の間で、需要が高まる期間に設定しています。